

日清食品カップ 第41回全国小学生陸上競技交流大会

監督・競技者注意事項

1. 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟規則ならびに大会要項に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮し、特に教育的配慮のもとに進行する。
2. 監督会議は10月27日（月）17時より、オンライン会議で行う。詳細については、別途案内する。
3. 開会式は11月2日（日）9時00分から行う。選手団は8時45分までにマラソングートの都道府県指定場所に集合し、開会式に参加する。なお、男子コンバインドA、女子コンバインドA、男子コンバインドB男女混合4×100mリレーに出場する競技者は、ウォーミングアップを行う時間帯のため、開会式への出席を控える。

※開会式への参加は、女子コンバインドB、友好レース100m（男女）、5年100m（男女）、6年100m（男女）の7名（友好レースの参加者がいない場合は5名または6名）、指導者（監督・コーチ・支援コーチ）2名とする。

4. 表彰について

- ① 表彰については全種目8位まで行い、賞状授与はB・C決勝入賞者、コンバインドは24位まで行う。
 - 1) 100m、4×100mリレーのA決勝の入賞者には賞状と副賞、B・C決勝の入賞者には賞状、その他の出場者（友好レース100mを含む）には記録証を授与する。
なお、A・B・C決勝の入賞外（DNS/DNF/失格）の選手・チームについては予選時の記録証を授与する。
 - 2) コンバインドA・Bの8位までの入賞者には賞状と副賞、DNS/DNF/失格等を除く、9位から24位までの入賞者には賞状、その他の出場者には記録証を授与する。
- ② 8位までの入賞者の表彰時の服装は、Tシャツまたはジャージ（下はハーフパンツ等も可）を着用する。
盗撮・迷惑撮影防止の観点から競技用ユニフォームは着用しない。
なお、表彰用のアスリートビブス（シールタイプ）を控え場所で配布するので、入賞者は前面に着用する。
- ③ 8位までの入賞者は競技終了後、表彰のためのインタビュー室を経由して大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。
- ④ 表彰式終了後は、大会関係者が入賞者を西ゲートへ誘導し、そこで解散とする。
- ⑤ 9位以下（B・C決勝、およびコンバインド24位まで）の賞状および記録証は、各県毎にまとめて渡す。
配布については、後述（「18. その他 ⑤」）の通りとする。

5. アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスの表記は、都道府県番号とする。
- ② アスリートビブスは支給されたままの大きさをユニフォームの胸と背につける。（全種目とも、胸・背の両方につける。）
- ③ 友好レースに出場する競技者のアスリートビブスは、男子「都道府県番号ー5」、女子「都道府県番号ー6」とする。

④ アスリートビブスの色は以下の通りとする。

布地の色：	白	100m（5年、6年）
	水色	コンバインドA
	ピンク	コンバインドB
	黄色	4×100mリレー
数字の色：	黒	男子
	赤	女子

6. 男女混合 4×100mリレーのオーダー用紙提出について

- ① オーダー及び友好レースについては、出場競技者名を所定の用紙に記入し、11月1日（土）の日産スタジアムの選手団受付時に提出する。

- ② 事故などにより、やむを得ず提出したメンバーの変更が生じた場合は医師の診断を受け、大会本部が認めた場合のみ友好レース出場者から男女混合リレーに出場する競技者を変更できる。

※但し、走順の変更はできない。（変更者の入れ替えのみ可）

※選手団受付時に提出したオーダーに変更が出た場合、予選は大会当日の予選1組目の招集完了時刻の60分前までに、決勝はC決勝の招集完了時刻の60分前までに、所定の用紙にて招集所の競技者係に提出する。

7. 競技者の招集について

- ① 招集所は下記の通りとする。

1) 100m・4×100mリレーの招集所は100mスタート側のマラソングート（2階周回路 ※柱番号273～275付近）に設置する。

2) コンバインドA・Bの招集所は第2曲走路側スタンド下エリア（屋内走路）に設置する。

- ② 招集は競技日程に記載の招集開始時刻～招集完了時刻の間に確実に完了する。

※招集完了時刻に間に合わない場合は、欠場とみなすので十分に注意する。

- ③ 招集所には、競技に出られる服装（アスリートビブスを付けた状態）で集合する。

- ④ リレー出場の競技者は走順に「都道府県番号ー1～4」の追番のついたアスリートビブスを付けて集合する。

- ⑤ トラック競技は、招集所で腰ナンバーカードを受け取り、右腰のやや後方に付ける。

※リレーは第4走者のみ。

- ⑥ コンバインド競技（混成競技）の2種目目についても同様に招集を行う。招集時間は競技日程に記載の通りとする。

※コンバインド出場者は、1種目目終了後、選手団エリアに戻り、2種目目の招集時間までに再度集合する。なお、コンバインド種目に限り選手はコンバインド招集所エリア内に待機することができる。

また、指導者はコンバインド招集所エリア（入口付近）で選手へ指示や指導を行うことができる。コンバインド招集所エリアに入ることができるのは監督・コーチ・支援コーチのうち2名までとする。

※コンバインド招集所エリアに入れる指導者用に指定のマーク（2枚）を配布する。

※入場規制を行うため、指導者は必ずADカード及び指定のマークを付けて入場すること。

※コンバインド招集所エリアで、指導者は混成競技者係の指示に従う。

※コンバインド招集所エリアでの、水分補給は可。但し食事は不可とする。

※昼食や休憩時間は、コンバインド招集所エリアに滞在することはできない。

⑦ コンバインド競技に出場する競技者は、混成競技系の指示に従う。

⑧ コンバインド招集所への競技者および⑥に記載した指導者以外の入場は禁止する。

8. トラック競技

① 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。スパイクのピンは全種目 9mmを超えないものとする。

② 組・レーン順はプログラムに記載のとおりとする。

③ 100m（5年・6年）、4×100mリレーは、予選をタイムレースで行い、A決勝を予選上位8番までの競技者、B決勝を予選9番～16番までの競技者、C 決勝を予選17番～24番までの競技者とする。決勝ボーダーライン上で1000分の1まで同タイムが出た場合、指導者による抽選を行う。

④ スタートはクラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくても良い。

⑤ スターティングブロックは競技場に備え付けのものを使用する。

⑥ スタートの合図はイングリッシュコールで行う。

⑦ 同じ競技者が2回不正スタートをした場合、その競技者は失格とし、オープン参加として走る。

※1回目の不正スタートでは、出発係が「黄/黒」のカードを示す。

※2回目の不正スタートでは、出発係は「赤/黒」のカードを示し、オープン参加となる旨を伝える。

⑧ 危険防止のため、各走者はゴール後も自分のレーンを走り減速する。

⑨ 80mハードルは、男女ともにハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。

⑩ リレー競技（男女混合4×100mリレー）は男女各2名から編成され、走順は自由とする。
（補欠についても男女各1名ずつとする。）

⑪ リレー競技のバトンは競技場に備え付けのもの、マーカーは主催者で用意したものを、出発係から受け取り使用する。

⑫ リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは30mとする。

テイク・オーバー・ゾーンの中からスタートする。※ゾーン外から走り出してはならない。

⑬ リレー競技に出場する競技者のユニフォームは原則としてチームの全競技者とも同一デザインとする。
ただし、ユニフォームのタイプや男女による型の違い等は認めるものとする。

⑭ リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない競技者は友好レース（男女別・100m）に出場できる。その際のナンバーカードについては上記「5. アスリートビブス ③」の通りとする。

⑮ リレー競技では、レース終了後に次走者がつけたマーカーを前走者が必ず回収する。

9. フィールド競技

① 競技に際してはシューズ又はオールウェザー用のスパイクを使用すること。スパイクのピンは全種目 9mmを超えないものとする。

② 試技順はプログラムに記載のとおりとする。

③ 走高跳

1) 1・2組に分かれ、第1曲走路側（Aゾーン）に並んで設けられたA（1組）・B（2組）ピットの2カ所で行う。

- 2) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとし、背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
- 3) 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。パスを行なうことができる。
- 4) 最初の試技の高さは、ピット内にて練習時に競技役員に申告する。
- 5) バーの上げ方は次のとおりとする。

男 子	1m05(練習)	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以降 3cm ずつ
女 子	1m00(練習)	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	以降 3cm ずつ

④ 走幅跳

- 1) 1・2組に分かれ、A（1組）・B（2組）ピットで行う。
（Aピット：トラック側・Bピット：スタンド側）※バックストレート側のピットを使用する。
- 2) 試技順通りに試技を行い、2回の試技で終了とする。

⑤ ジャベリックボール投

- 1) 第2曲走路側（Bゾーン）を競技場所とする。助走距離は15m以内とする。
- 2) ジャベリックボールは競技場で準備されたものを使用する。
- 3) 競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボール先端につけて（落下地点に痕跡を残すため）、ボール本体を持ち、オーバーハンスローで投げることにする。＊羽だけを持って投げることは禁止する。
- 4) 試技順通りに試技を行い、2回の試技で終了とする。

10. コンバインド競技

- ① 本大会におけるコンバインド競技は次の順で行う。

コンバインド A(男子)：走高跳、80mハードル

コンバインド B(男子)：走幅跳、ジャベリックボール投

コンバインド A(女子)：80mハードル、走高跳

コンバインド B(女子)：ジャベリックボール投、走幅跳

- ② 各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表』による。得点は男女共通とする。
※『JAAF 小学生混成競技得点表』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開。
- ③ 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ④ スタートまたは試技を行い、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）および参考記録（80mハードルにおいて不正スタートとなりオープン参加時の記録）の場合、得点は0点とする。
- ⑤ 1種目目に出場し、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）、参考記録の場合、2種目目の出場は可能とする。
- ⑥ 1種目目で欠場した（スタートまたは試技を行わない）競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑦ 1種目目または2種目目のいずれか、または両方において、途中棄権（DNF）、記録無し（NM）、失格（DG）、参考記録の場合、2種目の合計得点は、コンバインド得点として認められる。
- ⑧ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。

11. 記録・番組編成結果の発表

- ① 記録は大型映像および大会オフィシャルサイトに掲載する。

大会オフィシャルサイト <https://www.jaaf-nissincup.jp/competition/>

- ② 100m、4×100mリレー決勝の番組編成結果についても、大型映像および大会オフィシャルサイト内に掲載する。



12. トラック競技参加者の荷物の運搬について

① 個人種目

- 1) 100m予選・友好レース・80mハードル（コンバインドA）は、荷物の運搬はしない。大会関係者が競技者を招集所まで誘導し、荷物を持って退場する。

※男子友好レースに出場する選手は、後述「18. その他②」の通り、競技終了後、選手団エリアに戻らずにフレンドシップパーティーへの参加となるため、大会関係者の誘導に従って行動し、選手団に合流する。なお、荷物はフレンドシップパーティー終了後、退場時に各自で持って退場する。

- 2) 100m A決勝は、補助員が入賞者待機場所に運搬する。

- 3) 100m B・C決勝は荷物の運搬はしない。大会関係者が競技者を招集所まで誘導し、荷物を持って退場する。

② リレー種目

- 1) 予選・決勝ともに、荷物の運搬はしない。予選を走り終えた競技者は各自のスタート地点に戻り、自分の荷物を持って、招集所へ移動し、退場する。

- 2) A決勝の各チームの走り終えた競技者は各自のスタート地点に戻り、自分の荷物を持って、大会関係者の指示に従って、第一走者のスタート地点を通り、入賞者待機場所へ移動する。

- 3) B・C決勝の各チームの走り終えた競技者は各自のスタート地点に戻り、自分の荷物を持って、招集所へ移動し、退場する。

13. 入賞者（8位まで）の誘導について

- ① 友好レースを除く各種目8位までの入賞者は、表彰のためインタビュー室を経由して大会関係者が入賞者待機場所へ誘導する。

- ② コンバインド（A・B）は2種目目終了後、招集所エリアで待機し、8位までの入賞者確定後、8位までの入賞者は大会関係者がインタビュー室を経由して、入賞者待機場所へ誘導する。それ以外の競技者はそこで解散とする。

- ③ 表彰式終了後に大会関係者が入賞者を西ゲートまで誘導し、そこで解散とする。

14. 抗議について

100m、4×100mリレーの招集所横に「抗議受付(TIC)」を設置する。受付後は競技役員の指示に従い、「抗議者控え室（219室）」に待機する。

抗議は、予選では結果の正式発表後15分以内、その他は結果の正式発表後30分以内に行わなければならない。

15. 事故防止と競技場の使用について

- ① 練習は指定された場所・時間で競技役員の指示に従って行い、「事故防止」に万全を期す。

《11月1日（土）大会前日の練習について》

練習時間 11：45 ～16：00

- 1)主競技場 100m ホームストレート
 80mハードル バックストレート
 走高跳 フィールド内（Aゾーン）
 走幅跳 走幅跳ピット（バックスタンド側）
※ラダーやミニハードル、トーイング等の持ち込み、使用は禁止。

<トラック>

- ・ 走路の外側：周回（ジョギング）
- ・ 第2曲走路(トラック)外側：ストレッチング・ドリル
- ・ 1～2レーン：スプリント練習（流し）
- ・ ホームストレートの5～9レーン：スタート練習
- ・ バックストレートの5～8レーン：ハードル練習6台×4レーン

<フィールド>

- ・ 走幅跳：バックストレートで、Aピット(トラック側)、Bピット（スタンド側）に分かれて、練習を行う。A・Bピットの使用は各自で選択する。
- ・ 走高跳：Aゾーンに1m00から1m30、および1m25から1m45以上で行う2つのピットを設置、練習を行う。ピットは各自で選択、ピット間の変更も可。

競技会：男 子 練習：1m05 本番：1m10

女 子 練習：1m00 本番：1m05

※フィールド内(Bゾーン)、ジャベリックボール投の助走練習等は不可。
(Bゾーンでは集合写真撮影)

2)補助競技場 4×100mリレー（トラック）

- ・ 走路の外側：周回（ジョギング）
- ・ 第2曲走路(トラック)外側：ストレッチング・ドリル
- ・ 第1コーナー（第2コーナー手前まで）：スタート練習のみ
- ・ 第2・第4コーナー：1～2レーンは流し・バトン流し等
4～8レーンはリレーのバトンパス
- ・ 第3コーナー：1～8レーンすべてバトンパス

※ラダーやミニハードル、トーイング等の持ち込み、使用は禁止。

3)投てき場 ジャベリックボール投

- ・ やり投げピット：投てき練習
- ※ピット以外での投てきは禁止。

《11月2日（日）大会当日の練習について》

練習時間

1) 補助競技場 8:00～16:00

① 体操等のウォーミングアップはバックストレートのトラック外側部分で行う。

フィールド内の「芝生」部分への立ち入りは禁止する。

② 走路の使用は次の通りとし、逆走は禁止する。

・ 1～2 レーン：ジョギングで使用。

・ 3～5 レーン：リレーで使用。

・ 6～8 レーン：（ホームストレート）100m種目で使用。

・ 7～8 レーン：（バックストレート）80mハードル種目で使用。

③ 走高跳、走幅跳のピットは使用可能。

2) 投てき場 女子 9:35～10:35

男子 11:50～12:50

② 招集所待機中の練習等は禁止とする。

③ 練習場にハードル等の持ち込みはできない。※ハードルは主催者側で準備した物を使用すること。

④ 大会当日の練習は補助競技場と投てき場（ジャベリックボール投）で係員の指示に従って行う。

⑤ スタンド裏コンコースでの練習は禁止とする。

⑥ 練習場に立ち入りのできる監督・コーチ、支援コーチは各都道府県で最大8名までとする。

※配布されたADカードを必ず着用のこと。なおADカードを他者に貸与することはできない。

※曲走路、ピット内の立入は競技者のみとし、監督・コーチ、支援コーチは立入禁止。

⑦ 練習場の使用時間、使用方法是監督・競技者注意事項に従うこと。

⑧ 更衣については、招集所横の競技場内に更衣室を準備する。貴重品、荷物については各自で管理すること。

16. ケガ等への対応

① 救護については競技場内の医務室を使用する。応急処置は大会本部で行うが、以後、保険適応外の責任は負わない。

② 監督・コーチ（支援コーチは除く）、競技者は国内旅行傷害保険に加入する。

17. 競技場内への入場と、写真等の撮影について

① 迷惑撮影防止措置として、本大会主催者より各選手団に40本（予定）のリストバンドを配布する。

本リストバンドまたはADを着用している者のみ、スマートフォンとタブレットによる撮影を可能とし、一眼カメラ、ビデオカメラ等での撮影は禁止とする。

② 11月1日（大会前日）は選手団（ADカード着用）および指定色のリストバンドをつけている者のみ、競技場内への入場を可能とする。ただし、選手団以外は、観客席のみとする。

11月2日（大会当日）はリストバンドをつけていない者の撮影は禁止とする。指定色のリストバンドをつける際は手首につけること。

③ リストバンドが確認できない場合や、リストバンドの有無に関わらず不適切な行動や撮影が認められた場合には、警備員もしくは大会関係者によりお声掛けする場合がある。

18. その他

- ① 開会式は、ウォーミングアップ中の競技者と指導者を除く選手団（競技者・指導者）が参加する（3.に記載の通り）。
- ② フレンドシップパーティーは選手団全員が大会記念 T シャツを着用し、参加する。
 - ・男子友好レース 100mに出場する選手は、競技終了後、選手団エリアに戻らず、フレンドシップパーティーに参加するため、競技用具とともにフレンドシップパーティーで着用する記念 T シャツを持参して招集所へ集合する。
 - ・競技終了後、競技役員の誘導に従い、招集所へ移動し、招集所で記念 T シャツを着用する。自分の荷物は大会関係者の指示に従い指定の場所へ移動する。フレンドシップパーティー終了後、退場する前に自分の荷物を取りに行き、荷物をもって退場する。
- ③ 横断幕は 1 階スタンドの各都道府県に割り当てられた席の前で、指定された柵のみに掲出を認める。
- ④ スタンド裏コンコースに、各都道府県の控え場所を割り当てる。コンコース内には、テント等、障害物となるものの設置や、壁面・柱・柵への掲出物は、いかなる用途・サイズであっても設置を不可とする。
- ⑤ 9 位以下（B・C 決勝、およびコンバインド 24 位まで）の賞状・記録証・リザルトについては以下の通りとする。
 - ・大会終了後に宿泊する都道府県：当日の夕食の際に各選手団のテーブルに配布する。
- ⑥ 競技場（主競技場、補助競技場、投てき練習場）のトラックおよびフィールドには水およびスポーツドリンク以外の飲食物の持ち込みは禁止する。
- ⑦ フィールド種目において、本会場では、構造上、危険を伴うため、どのような方法であっても録画されたものを確認するための機器の受け渡しをすることはできない。また、受け渡しをしない場合でも、自撮り棒などを使用した録画媒体の確認も危険を伴うので行わないこと。
- ⑧ ゴミは各自持ち帰りを原則とする。
- ⑨ 水分補給など体調管理に十分に注意すること。
- ⑩ 本注意事項のうち、各項目とも天候や運営の都合上、変更になる場合がある。
※変更が生じる場合、大会本部より連絡をする。